



風の子 太陽の子

学校便り
No. 3
R 8. 6. 5

体の命、心の命を守る「安全ブレーキ」を

校長 小林 延和

浜松市では、6月12日は「命について考える日」です。

相生小学校では、道徳の授業や朝活動の時間などで、自分の命だけでなく周りの友達の命を大切にすることや人を思いやる心の大切さについて指導していきます。

6月10日の朝活動では、校長から全校児童に「命と心を傷つけない、みんなの『安全ブレーキ』』というテーマで話をする予定です。

近年、悲しい交通事故のニュースが絶えません。車には悲惨な事故を防ぐために「ブレーキ」が不可欠ですが、私は子供たちに、学校生活や日常の中にも「心の中の安全ブレーキ」が必要であると伝えていきます。

一つは、「体の命を守るブレーキ」です。廊下や教室でのけがは、「これくらい大丈夫だろう」という一瞬の油断から起こります。悪気がなくても、激しく衝突すれば大けがにつながり、相手の命も自分の命も傷つけることになります。「廊下は歩く」というきまりの本当の意味を、今一度考えさせたいと思います。

もう一つは、「心の命を守るブレーキ」です。友達へのからかい、チクチク言葉で傷つけること、仲間外れ。これらはすべて、相手の心に猛スピードで体当たりし、相手の「生きている時間」を真っ暗にしまう「いじめ」という暴走です。言葉を発する前、行動に移す前に、心の中で「キキッ」とブレーキを踏み、「相手はどんな気持ちになるか」を考える優しさを持ってほしいと思います。

子供たちの命も心も、御家庭で大切に育てられてきた、世界にたった一つの宝物です。誰一人として痛い思いや悲しい涙を流さない、安全で優しさあふれる学校を創ることは、私たち教職員の使命です。

御家庭でもぜひ、「校長先生の話、どんなブレーキのお話だった？」とお子様と話題にしていただければ幸いです。学校と家庭が手を取り合い、子供たちの安全で豊かな成長を共に見守っていきましょう。

お知らせ

○面談の希望調査アンケートへの御協力ありがとうございました。日程調整後、決定した日を6月10日（水）にさくら連絡網でお知らせいたします。

○6月16日（火）から「さくら連絡網による入水確認」が始まります。御協力よろしくお願いいたします。（※詳しくは、6月1日付けで配付した「水泳の授業への御協力の依頼について」をお読みください。）

○6月に入り、熱中症が心配される日が多くなってきています。十分な休養・睡眠、リズムのよい生活、また日傘やネッククーラーの活用など、各家庭でできる熱中症対策をお願いします。（※詳しくは、5月26日付けで紙面配付したおたよりを御確認ください。）